

第4学年3組 社会科授業案

4の3教室 岩田 香苗

1. 単元名 「郷土栄につたわる願い」

2. 単元目標

- ・栄校区の昔のくらしに興味をもち、積極的に調べようとしている。 (関心・意欲・態度)
- ・戦後のもののない時代からよりよく変わってきた栄校区の様子や先人の思いを考えることができる。 (思考・判断)
- ・昔のくらしや栄校区の変遷について、お年寄りに聞いたり地図や写真などを利用したりして調べたことを分かりやすくまとめることができる。 (観察・資料活用の技能・表現)
- ・栄には昔の古い軍隊の建物などが残っていることを知り、軍隊の町として栄えた郷土が文教地区として発展できた経緯が分かる。 (知識・理解)

3. 単元設定の理由

(1) 児童観

6月の「ごみとくらし」の学習では、地域のごみステーションや資源化センターなどを見学したことにより、ごみ問題を身近に感じ、意欲的に調べることができた。また、前単元の「昔の道具調べ」では、洗濯板の使い方を児童の祖母に教えてもらいながら体験したことにより、昔の道具のすばらしさに気づき、人々のくらしの様子について興味をもつことができた。そこで、本単元でも家族や校区の人から昔の話を聞いたり校区を見学したりすることにより、具体的な昔の栄校区について自分と関わらせて興味をもって調べていくことができると考えた。本学級の児童は、9人が祖父母と同居しており、そのうち2人が栄校区に昔から住んでいる祖父母をもつ。また、同居していないが昔の栄校区を知っている祖父母をもつ児童は2人いる。そのほかにも、栄小学校に通っていた父母もあり、戦後の栄校区の変容を身近な人から聞くことができると思われる。子どもたちは親しい人から聞くことで、校区をより身近に感じ興味をもって調べることができるだろう。そして、調べていく中で校区のよさを発見し、郷土に親しみをもてる子どもを育てていきたい。

(2) 教材観

校区の愛知大学の中には、明治41年建築の旧陸軍第15師団司令部庁舎が国登録の文化財として残っており、菊御紋章の跡や陸軍星マークが残っている。また、正門には「第15師団指令部」の標柱や旧短大本館(偕行社・陸軍親睦団体の施設)や旧陸軍大講堂などが残っている。南部中学校の西側の松林は通学路になっているが、そこにも火薬庫の門の跡や油をとろうとして傷つけられた松なども残っている。このような施設から、栄校区は軍隊の施設がたくさんあったことに気づくと思われる。戦後、軍隊がなくなり、その施設を「愛知大学」「時習館高校」「工業高校」「南部中学校」などの施設に再利用し、その後、兵器廠の跡地に「栄小学校」ができ、軍隊の町から文教の町へと大きく変わっていった。そして、校区内に海外からの引揚者の住宅や大きな工場ができた。昭和25年にできた大日本紡績は、2000人余りの人が敷地内に住み、南栄駅は、学生や労働者でにぎわうようになった。その人たちを相手に「栄生マーケット」ができ、戦前に軍隊を相手に栄えていた「南栄商店街」もより発展し、このあたりは豊橋駅に次いで二番目のにぎわいをみせる町になったのである。

そのような発展をつかませるために、家族や地域のお年寄りから聞き取るだけでなく、4年1組の子どものおばあさんの知り合いで校区に住んでいる栄小学校第1回卒業生の吉田さんや「南栄町物語」を書いた元南栄総代の水口さんから直接お話を聞く機会を設けて学習を進めていきたい。

戦争に負けて何もなくなったところから、現在の発展した栄校区になったのは、軍隊の施設や跡地を学校にした行政側の意図もあったが、栄に集まった人々や栄を良くしていこうとする地域の人たちの努力があったからである。校区に住んでいる吉田さんや元総代の水口さん、こどもたちの祖父母など、今まで地域の発展のために努力してきた人々と触れあうことで、人々の努力や願いまた、栄校区に愛着をもち続ける人々がいることに気づくことができるだろう。そして、その人々の努力があったからこそ現在の住みよい町になったことに気づき、自分たちの町に愛着をもつことができると考えた。

(3) 指導観

豊橋の中でもこの栄校区は軍隊の施設がたくさんあった所である。祖父母から軍隊の町であったことや今も施設の跡がたくさん残っていることを聞いたり見学したりすることで、昔の校区の様子が分かり、そこからどのように変わってきたのかを考えることができる。そして、昔の地図と今の地図を比べることで、軍隊の施設が学校に変わっていったことに気づき、なぜ学校にしたのだろうかという課題がでてくると思われる。その理由を話し合う中で、たくさんの学校が戦後のくらしの様子から必要だったことや、大きな工場ができたことで、地域の人口が増え商店街が発展してきた事実を、校区誌を読み取らせ、その当時を知る人から聞き取ることにつかませたい。そして、校区が発展するには何が必要かを考えさせたい。地域の人々が積極的に学校を誘致したわけではないが、吉田さんや水口さんから戦後もののない時代に新しい施設をつくる困難さや少しでも暮らしをよくしようと人々が努力してきたことを聞きとり、結果的に栄校区が住みよい町になっていったことに気づかせたい。

そして、校区の発展を考えて町づくりに参加してきた人々の思いに気づき、自分たちもこの郷土栄をもっとよくしていこうという気持ちを育てていきたい。

4. 単元構想図（19時間完了 社会14時間 総合5時間 本時14／19）

〔子どもの学習の流れ〕

〔重点評価項目〕

前単元の課題から

昔の道具はいろんな工夫がしてあってすごいね。道具を上手に使っていた昔の人はすごいね
もっと昔の暮らしについて調べてみたいね

おじいさんやおばあさんが子供の頃の栄はどんな町だったのだろうか 社会①

昭和4年

- ・建物が全然ないね
- ・弥生町の辺りは白くてなにもないよ
- ・南栄は昔から家や建物があったんだね
 - ・栄校区はすごく変わったんだね
 - ・でも、松林は昔からあるよ。昔の物も残っているんだね
 - ・そういえば、愛知大学に古そうな建物があった。他にもあるかもしれないよ

平成10年

- ・学校の周りは家がいっぱいだよ
- ・昔の空き地や田んぼがほとんどないよ
- ・道路の幅が広がっているよ

関心・意欲
昔の生活に興味を持ち、昔の写真を見て調べてみようという気持ちを持つことができるか。
(発言・ノート)

栄校区の古いものさがしをしてみよう 総合②（見学） 社会②（話し合い）

- | | | | | |
|-----------------------|-------------------|--------------------------|--------------------|---------------------------|
| 〈旧師団司令部・偕行社〉 | 〈火薬庫の門跡〉 | 〈松林〉 | 〈コンドーパン〉 | 〈河合コロック〉 |
| ・100年もたっていてしょうぶだね | ・三回名前を聞いて答えなかった | ・きずはけずられてできなかったなんて初めて知った | ・明治の終わりの頃からやっていたって | ・55年も前からやっているんだね |
| ・天井がたかいね | ・見張り番の人の建物も残っていたよ | ・油をとって燃料にしようとしていたんだ | ・煉瓦は大正13年にできたみたい | ・ずっと続けていてすごいな |
| ・今にも壊れそうな建物だよ | ・とてもこわいね | | | ・栄生マーケットっていったくさんお店があったんだね |
| ・星マークは軍隊の建物や人についていたんだ | | | | |

- ・戦争の物がたくさんあるね
- ・どうして古い建物をそのままにしておくのかな

- ・昔から続いているお店がたくさんあるんだね
- ・昔の建物をそのまま使っているんだね

・なぜ、古いものがこんなにたくさん残っているのかな

観察・資料活用
栄校区の昔について、おじいさんやおばあさんなどの身近な人の話を聞いたり、見学したりして興味をもって調べることができたか。
(発言、一人調べ、カード)

栄校区には、なぜ古いものがたくさん残っているのかな 社会③（一人調べ①、意見交流①、話し合い①）

- | | | |
|----------------------------------|----------------|--------------------------------|
| 〈未来に伝えるため〉 | 〈お金がかかるから〉 | 〈人がいっぱい集まったから〉 |
| ・建築家が勉強になる建物だから、残してある | ・こわすのもお金がかかる | ・昔は、人がいっぱいでは通れないくらい買い物に来ていた |
| ・兵隊さんたちの苦しい思い出や楽しい思い出がつまっているか残した | ・残していても、不便ではない | ・今より、たくさんのお店があって豊橋でも一番栄えていた |
| ・こわそうという計画があったけど、反対した人たちがいたんだよ | | ・車がない時代だったから、駐車場がなくてもお店がやっていけた |
| ・戦争のことを忘れないため | | |

- ・でも、戦争のことを話せる人がいなくなるから、残しても伝わらなくなるよ
- ・それに、軍隊の門だけあって、建物が残っていないなら伝わらないよ

どうして、それでも残っているのかな①（話し合い）

- | | |
|---|---------------------------|
| 〈残すことに賛成〉 | 〈残すことに疑問〉 |
| ・また、戦争がおきるかもしれないから残した方がいい | ・もう戦争はしないから残さなくてもいい |
| ・兵隊さんたちの楽しい思い出や苦しい思い出がいつまでも残っているから残した方がいい | ・苦しい思い出なら忘れたいはずだから残さなくていい |
| ・今の平和の大切さを忘れないためにも、残しておいてほしいと思っているよ | ・話せる人がいなくなったら、残していても伝わらない |

・昔の人はどうして残そうとしたのか、吉田さんに聞いてみたいな (吉田さんの話)

- ・戦争はとても悲しい出来事だった。二度とくり返してはいけないという思いがあって、残してきた
- ・偕行社は、唯一自由な場所だった。自由であるという幸せを忘れないために残したいと思った
- ・この栄は、戦争と関係のあった軍隊の施設がたくさんあった場所。軍隊のお陰で、商店ができ、発展していた。でも、戦後軍隊がすべてなくなった後、学校ができたお陰で、商店はさらに発展することができた

社会的・思考判断
昔のものが残っている理由を、地域の人々の願いと関わらせて考えることができたか。
(発言・ノート)

- ・昔の人が苦勞して残してきたのだから、戦争のことを自分たちもしっかり聞いて、次に伝えていかなくてはいいね
- ・軍隊の跡に学校ができたんだね。どの学校のことかな。

昔の地図と今の地図で比べてみると分かるかな 社会① (発表)

〈昔の地図〉

- ・この辺りは、軍隊の施設がいっぱいだったんだね
- ・全部で7つもあるよ
- ・すぐ近くに演習場があったんだね
- ・どうして、軍隊の跡を学校にしたのかな

〈今の地図〉

- ・栄小学校の近くに学校がたくさんあるよ
- ・軍隊だった場所は、すべて学校になっているよ
- ・大きな工場もできたんだ

なぜ、軍隊の施設に学校ができたのだろうか 社会⑤ 本時 5 / 5

なぜ、学校にしたのかな① (一人調べ)

〈愛知大学〉

- ・豊橋市が大学に来てほしくてよんだんだね

〈時習館高校〉

- ・戦争で焼けてなくなったから建物が残っていた所にく

〈工業高校〉

- ・戦争で焼けてなくなったから建物が残っていた所にく

〈南部中〉

- ・戦後、すぐ中学校をつくったんだね

〈栄小〉

- ・福岡小がいっぱいになったからできたんだね

- ・建物が焼けずに残っていた所に学校ができていったんだね

工場ができたのはなぜだろう 社会② (一人調べ①) (聞き取り①)

- ・学校だけでなく、工場もあったほうが働けるから
- ・人が増えたから、空いているところを工場にしたんだね
- ・働きにくる人は5万円の支度金がもらえたんだって (吉田さんの話)

- ・工場の中は、他ではやってない映画も観れてとてもうらやましかった
- ・工場のお陰で、2000人も人口が増えて、商店街は戦後もさらに発展できた

- ・工場ができるとこんなに町が発展するんだね。もっと工場をつくればよかったのに

学校と工場、どっちがよかったのかな 社会② (一人調べ①) (話し合い①)

〈学校にしたほうがいい〉

- ・学校にすればみんなが勉強していい町になる
- ・人が増えて、商店が発展する
- ・子どもが家にいたら、大人は働けないよ

〈工場のほうがいい〉

- ・生活するために働く工場があった方がいい
- ・人が働きに来て、商店が発展する
- ・仕事がないと子どもたちも生活できない

(地図) (人口のグラフ) (年表)

- ・戦争で焼けだされた学校は、他に行き場所がなかったんだね。
- ・だから、まず学校にして子どもたちの教育を何とかしてから働く場所をつくっていったんだね

栄がどのように変わってきたのかな 社会② (まとめ①) (意見交流①)

- ・昔のものを自分たちの生活によりよく利用しながら、町を発展させてきたんだね
- ・戦争の町だったのがこんなに平和な町に変わってきたのは、昔の人のおかげなんだね

栄校区歴史マップを作ってみんなに紹介しよう 総合③

- 校区のためにがっばってきた人たちや大切にしてきた物を紹介しよう
- わたしたちも古いものを大切にしながら栄校区を発展させていこう

社会的・思考判断
軍隊の跡地を学校にし、住みよい町にしたいという地域の人々の願いに気づくことができたか。
(発言・ノート)

知識・理解
戦後、地域の人たちの努力によって栄の町が発展してきた歴史を理解し、自分たちも郷土栄を大切にしようとする気持ちを持つことができたか。
(発言、ノート、歴史マップ)

5. 本時の指導

- (1) 目 標 軍隊の施設を学校にするか工場にするかを話し合う中で、地域の人たちの学校に対する願いに気づくことができる。
- (2) 準 備 教師 —— 昔の軍隊の兵舎の写真、愛知大学の写真、校区の昔と今の地図
校区の人口の移り変わるグラフ
児童 —— 社会のノート、総合ファイル

(3) 学習過程

時間	学習の流れ	*支援と留意点	◎評価
	工場と学校、どちらが町が発展するのだろうか 〈工場〉 ・ユニチカができれば、2000人も人口が増えたんだよ ・それで、商店街がすごくにぎわうようになって、町が発展したよ ・この辺りは、地下水が豊富だからもっと工場を作ることができる ・戦後は生きていくのにみんな苦労していたから、働く場所がほしかった ・工場ができれば、もっと栄はたくさんの人が住んで発展した ・工場の敷地内で映画をみたり、楽しいこともふえる 〈学校〉 ・学校でも住む人が増えるよ ・住む人が増えれば、商店街にもぎやかになるよ ・工場は建物を建て替えないといけないけど、学校はそのまま使えるよ ・みんなが勉強すれば、いい町になって平和になるよ ・戦争で建物が焼けてしまった学校は建て直していたら、その間勉強できなくなるから、空いている建物を学校にした (人口の移り変わりのグラフ) (軍隊の兵舎の写真) ・工場でも学校でも人口は増えるけど、学校は卒業しても住むけど、工場はやめたら住まなくなるかもしれないよ。 ・軍隊の建物は、学校の教室としてすぐに使えるから学校にした方がいい。戦争に負けてお金がなかったときに、新しく建てることはできない 軍隊の施設跡を工場にしたら、子どもたちはどうなるのかな (昔と今の地図) ・工場にしたら、子どもはどこの学校にいけばいいのかな ・空いている場所はあるけど、遠いと通えないよ ・子どもが家にいたら、大人は働けないね 今日の学習のふりかえりをしよう 地域の人たちは、子どもたちの未来を考えて町づくりをしてきたんだね		*調べたことをもとに発言できるように、人口のグラフや前時までの資料を提示する。 *活発に発言できるように、意見の対立を分かりやすく板書する。 ◎調べたことをもとに、発展する理由を考えることができたか(発言・ノート) *学校は歩いて通える場所や交通の便のよい場所にあると通学しやすいことに気づかせるために、地図を使う。 ◎学校をつくり、地域を発展させようとした人々の願いに気づくことができたか。 (発言・ノート)
30			
40			

(4) 評 価

- ・A基準：地域の発展のために、まず教育環境をととのえ、その上で工場をつくることで大きく発展させようとした人々の考えに気づいた発言や記入がある。
- ・B基準：地域の発展には、まず教育環境をととのえることの必要性に気づき、軍隊の施設を学校に利用したわけを考えた発言や記入がある。